

新千里東町

千里中央から歩行者専用道路をたどると、都市的な風景から一転して千里東町公園の竹林や水辺の風景、並木道、集合住宅のまち並み、千里中央公園の広々とした緑の空間などがパノラマのように展開していきます。新千里東町は風景のワンダーランドです。



- モデルコース**
- 🚉 千里中央駅 北改札口
 - ① 長谷北橋
 - ② 新千里東町近隣センター
 - ③ もくせい公園
 - ④ 信号 (東町センターバス停横)
 - ⑤ 千里中央公園北側入口
 - ⑥ 展望台
 - ⑦ 桜の丘
 - ⑧ 噴水
 - ⑨ 安場橋
 - ⑩ 長谷南橋
 - 🚉 千里中央駅 南改札口
- 合計 約3.8 km

北大阪急行 千里中央駅 北改札口

● 集合住宅のまちを知る

新千里東町は戸建て住宅のないまちです。もともとは団地が集まったまちで、団地は地域の子どもの遊び場でした。現在はマンションへの建替えが進みましたが、千里ニュータウンで多く採用された「囲み型配置」(中庭を囲む形に建物を配置する形式)のUR団地は今も健在です。その形式は住民たちの近隣交流を助けるねらいがありました。



● 道から歴史を学ぶ

江戸時代には、大坂と箕面の勝尾寺とを結ぶ勝尾寺街道がこの地を南北に通って抜けていました。時を経て千里ニュータウン建設の後半、まちをめぐる歩行者専用道路が新千里北町に導入され、次いで新千里東町にはまち全体と千里中央をつなぐ歩車分離の道が実現しています。新千里東町は道の歴史を持つまちです。



● 人と人とのつながりを感じる

新千里東町ではマンションや団地の入口が歩行者専用道路に接しているため、道が住民の出会いと交流を生みだしています。千里ニュータウンでの先駆けになった地域活動がこのまちから生まれたのも、人と人をつなぐこの道のおかげかもしれません。



千里おもしろ話

● 1970年日本万国博覧会と新千里東町 ●

UR新千里東町団地(元住宅公団団地)は、万博開催時には、外国人の従業員などの宿舎になっていました。当時子どもたちは、従業員からバビリオンバッジをもらったり、近隣センターにあった銭湯で出会ったり。まちの中で様々な国際交流が行われていました。



公団新千里東町団地(左上)と万博会場